

グリーンボンド等支援表明について

ゴールドマン・サックスは、グリーンボンド発行に関する自主的ガイドライン「グリーンボンド原則」の策定に携わっており、これまで世界中でグリーンボンド、ソーシャルボンド、サステナビリティボンド、トランジションボンド、サステナビリティ・リンク・ボンドのストラクチャリングおよび引受といった取組を通じ、環境への配慮に努め、持続可能な社会の発展を目指してまいりました。

グリーンボンド等は、パリ協定により合意された「2℃目標」の達成や「1.5℃」に抑えるための温室効果ガスの大幅削減、及び持続可能な開発目標（SDGs）に掲げられた気候変動対策、循環型社会の構築、生物多様性の保全への取組等、持続可能な社会の形成に向けた取組に大きく貢献するものです。

ゴールドマン・サックスは、我が国のグリーンボンド等市場の拡大に向け、日本国内におけるグリーンボンド等を促進するための支援に積極的に取り組むことを表明します。

ゴールドマン・サックスは、2005 年 11 月に「環境ポリシーフレームワーク」を制定することで、環境問題に積極的に取り組んでいくことを明確に示し、その後も改訂を加え、環境保全に向けた取り組みを事業活動全体にわたり拡大してきました。2012 年には、10 年間で世界中のクリーンエネルギーに 400 億ドルの投融資を行うことを発表し、その後わずか 4 年で当初の目標を達成。更に、2030 年までにサステナブル金融関連の成長テーマで 7,500 億ドルのビジネスに関与する目標を設定しており、そのうち 3,000 億ドルは 2021 年末までに既に達成致しました。また、2030 年までに自社とサプライチェーンの業務運営で、ネットゼロ達成に向けてコミットしております。

ゴールドマン・サックス証券株式会社